

直近の家庭用牛乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ:次回発信日は5月2日週報(予定)

発行:一般社団法人Jミルク生産流通グループ

「牛乳・発酵乳ともに回復傾向～GWに向け継続的に消費喚起を～」

- ・4/15週の牛乳類の販売個数は、前週(4/8週)と比較して4品目全てのカテゴリで増加した。一週間の平均気温が平年より3℃以上高く暖かい日が続いたことなどが消費を押し上げた要因と推察される。牛乳類のうち、牛乳はほぼ前年並みの販売個数で、加工乳や乳飲料は前年越えとなった。地域別に見ると、中国地方などは2年前の水準も上回っている。一方、販売単価は3週連続低下、乳価が改定された昨年8月以降最も低い水準を更新した。
- ・今週末からはゴールデンウィークに突入する。春休み期間と同様に乳製品工場はフル稼働で対応する計画で、製造トラブルなど不測の事態が生じた際の影響を最小限にとどめるためにも引き続き業界関係者は一丸となり配乳調整や消費喚起に取り組む必要がある。
- ・はっ酵乳の販売個数は、3品目全てのカテゴリで前週から増加した。このうち個食タイプは、年明け以降初めて前年を上回った。
- ・家庭用バターは5週ぶりに上昇に転じたものの、販売個数は前週から増加に転じ堅調に推移している。

「参考」消費拡大運動 JミルクHPリンク先

「土日ミルク」 <https://www.j-milk.jp/news/satsunmilk.html>
 「牛乳でスマイルプロジェクト」 <https://www.j-milk.jp/news/h4ogb4000009abz.html>

【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI+】

(1)直近動向(表①参照)

・直近(4/15週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳:99.7%、成分調整牛乳:89.1%、加工乳:同105.6%、乳飲料:同102.5%。

牛乳類トータルでは同99.5%

※参考:2019年度比(コロナ禍以前)の牛乳販売個数は82.1%。

・販売単価は、牛乳:224.4円、成分調整牛乳207.5円、加工乳:219.4円、乳飲料:173.3円。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位:千個、円)

品目	区分	2.26-	3.4-	3.11-	3.18-	3.25-	4.1-	4.8-	4.15-	24.4.15-22.10.24 価格差	24.4.15-23.3.20 価格差	24.4.15-23.7.24 価格差
		販売個数	34,322	33,751	34,148	34,132	34,807	35,615	35,300	36,074		
トータル	販売個数前年比	97.5	93.6	96.7	96.0	95.6	97.3	96.9	99.5	32.2	17.3	14.9
	販売単価	216.2	216.2	216.2	216.4	216.5	215.9	215.7	215.4			
牛乳	販売個数	26,243	25,724	26,073	26,131	26,551	27,236	26,961	27,573			
	販売個数前年比	98.5	94.1	97.2	96.9	96.2	97.4	97.3	99.7	34.1	17.8	16.6
成分調整牛乳	販売個数	2,104	2,086	2,111	2,086	2,139	2,137	2,137	2,196			
	販売個数前年比	84.5	82.0	84.9	83.4	82.6	85.2	84.5	89.1	33.8	18.9	14.3
加工乳	販売個数	722	713	720	735	748	789	779	783			
	販売個数前年比	94.1	97.6	98.2	102.3	94.9	107.2	104.6	105.6	28.5	18.2	7.6
乳飲料	販売個数	5,253	5,228	5,244	5,180	5,369	5,454	5,423	5,523			
	販売個数前年比	98.6	95.9	99.5	96.6	98.8	101.2	99.8	102.5	23.6	13.8	9.1
	販売単価	173.2	173.5	173.9	173.8	173.5	174.0	173.6	173.3			

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



